

関東信越厚生局長 殿

群馬大学医学部附属病院長
石 川 浩

群馬大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	67.3 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	267人	273人	490.2人	看護補助者	1人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	7人	19人	26.0人	理学療法士	8人	臨床検査技師	57人
薬 剤 師	38人	25人	63.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	1人	0.8人	視能訓練士	3人	その他	0人
助 産 師	19人	0人	19.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	603人	47人	638.7人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	5人
准 看 護 師	1人	3人	3.0人	栄 養 士	1人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	152人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	47人	その他の職員	6人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	607.0 人	12.6 人	619.6 人
1日当たり平均外来患者数	1,799.5 人	78.6 人	1,878.1 人
1日当たり平均調剤数		13,886.9 (854.7 件) 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	144人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	112人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	125人	・原発性胆汁性肝硬変	22人
・全身性エリテマトーデス	317人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	146人	・特発性大腿骨頭壊死症	56人
・再生不良性貧血	57人	・混合性結合組織病	27人
・サルコイドーシス	208人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	86人	・特発性間質性肺炎	23人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	338人	・網膜色素変性症	24人
・特発性血小板減少性紫斑病	111人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	33人	・肺動脈性肺高血圧症	8人
・潰瘍性大腸炎	150人	・神経線維腫症	16人
・大動脈炎症候群	41人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	42人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	53人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	69人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	68人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	19人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	260人	・球脊髄性筋委縮症	1人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5人
・後縦靭帯骨化症	54人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	5人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	43人	・ミトコンドリア病	10人
・ウェゲナー肉芽腫症	19人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	4人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	55人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	18人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	38人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
標識抗体を利用したがん治	遠藤 啓吾	核医学科・放射線部	25,600,000	補 文部科学省
摂食抑制ホルモンNesfatin-1の受容体活性化機構の解明と臨床展開	森 昌朋	内分泌・糖尿病内科・光学医療診療部・遺伝子診療部	14,430,000	補 文部科学省
脳腫瘍の形態・遺伝子分類の確立ー腫瘍の生物活性をよく反映する病理診断をめざす	中里 洋一	病理部	2,730,000	補 文部科学省
24時間咽喉食道内pH・インピーダンスモニタリングによる食道咽喉逆流の解析	河村 修	第一内科	1,170,000	補 文部科学省
Septic shockにおけるVasopressinの役割についての解明	日野原 宏	集中治療部	1,040,000	補 文部科学省
乳癌の薬剤耐性機序の解明ー核内受容体SXRによるUGT発現の関与ー	小田原 宏樹	第二外科	1,170,000	補 文部科学省
排卵期ヒト卵巣顆粒細胞の変化とその機能	岸 裕司	周産母子センター	1,040,000	補 文部科学省
個別化医療の実現を目指した新規迅速遺伝子解析技術の臨床応用	村上 正巳	検査部・感染制御部	4,290,000	補 文部科学省
慢性腎疾患に合併する血管石灰化の分子機構の解明	倉林 正彦	呼吸器・アレルギー内科	3,640,000	補 文部科学省
がんに対する重粒子線治療の治療方法確立のためのトランスレーショナル研究	中野 隆史	放射線科	4,940,000	補 文部科学省
栄養因子の双方向性制御による神経再生促進法の開発:新規DDSとsiRNA	齋藤 繁	麻酔科蘇生科・集中治療部・高気圧酸素治療室	1,040,000	補 文部科学省
蛍光蛋白導入マウスを用いた麻酔薬による抑制シナプス伝達分子調節機構の統合解	西川 光一	麻酔科蘇生科	4,030,000	補 文部科学省
全ゲノム・ホモサイゴシティ・ハプロタイプ解析による前立腺癌責任遺伝子の解	鈴木 和浩	泌尿器科・重粒子線医学センター・人工腎臓センター	4,680,000	補 文部科学省
摂食抑制ホルモンNesfatin-1の脂肪分化抑制機構の解明と肥満治療への応用	岡田 秀一	第一内科	1,040,000	補 文部科学省
骨髄腫の多段階発症と予後におけるmicroRNAとメチル化遺伝子の役割	半田 寛	第三内科	1,430,000	補 文部科学省
非アルコール性脂肪肝炎における小胞体ストレスの役割	佐藤 賢	光学医療診療部	1,950,000	補 文部科学省
非アルコール性脂肪肝炎の病態における核内レセプターFXRとCARのクロストーク	柿崎 暁	第一内科	1,300,000	補 文部科学省
klotho遺伝子変異マウスを用いた、慢性閉塞性肺疾患の病態解明	須賀 達夫	第二内科	1,560,000	補 文部科学省
系球体バリアー機能における新規細胞間情報伝達系SHPS-1-CD47の解明	野島 美久	腎臓・リウマチ内科・輸血部・診療情報管理室	1,300,000	補 文部科学省
腎幹細胞システムを利用した腎再生医学の確立	前嶋 明人	第三内科	1,560,000	補 文部科学省
脳幹ニューロンに発現するシネミンの機能解明	水野 裕司	神経内科	1,040,000	補 文部科学省
パーキンソン病と筋萎縮性側索硬化症の病態解明に関する研究	岡本 幸市	神経内科・臨床試験部	1,300,000	補 文部科学省
PPARの転写共役因子PDK1/KOマウスにおける脂質代謝異常の分子病態解析	佐藤 哲郎	内分泌内科	1,300,000	補 文部科学省
スフィンゴシン1ーリン受容体とスカベンジャー受容体を介するリポ蛋白質作用	木村 幸穂	感染制御部	1,820,000	補 文部科学省
内分泌腫瘍発生機構の解明:MLL/menin核内複合体ー細胞周期経路からの脱ヒト臍帯血由来培養好塩基球の機能と細胞内シグナル伝達に関する研究	山田 正信	第一内科	1,300,000	補 文部科学省
石塚 全	呼吸器・アレルギー内科	1,430,000	補 文部科学省	
膵臓がんの発生・進展とDNA修復機構異常との関与	鈴木 秀樹	第一外科	1,300,000	補 文部科学省
数学モデルを用いた頸動脈狭窄症の治療適応に関する	好本 裕平	脳神経外科・手術部	1,300,000	補 文部科学省
神経障害性疼痛時の鎮痛薬の薬理学的可塑性ー脊髄モノアミンの変動を指標にして	小幡 英章	麻酔科蘇生科	1,430,000	補 文部科学省
日本人前立腺癌における前立腺癌関連遺伝子座8q24の検討	松井 博	泌尿器科	780,000	補 文部科学省
糖尿病網膜症におけるアクチビン・フォリスチン系の役	岸 章治	眼科	1,170,000	補 文部科学省

(様式第11)

先祖掃り制御因子Notch signaling操作による脳虚血後神経再生促進法の開発	齋藤 繁	麻酔科蘇生科・集中治療部・高気圧酸素治療室	500,000	補	文部科学省
急性期川崎病患者におけるToll-Like Receptorシグナル伝達の解析	小林 徹	生体防御機構学講座小児科学	1,430,000	補	文部科学省
麻酔薬によるシナプス可塑性抑制作用の分子機構:GABA合成酵素変異動物での解	石関 淳子	麻酔科蘇生科	1,170,000	補	文部科学省
臓器特異的シタキシン3欠損マウスを用いたサイトカイン分泌機構の解析とその応	入内島 伸尚	麻酔科蘇生科	650,000	補	文部科学省
なぜ抗血栓薬が痛みに効くのか—MRIで追える鎮痛機序の解明	荻野 祐一	麻酔科蘇生科	2,210,000	補	文部科学省
前立腺癌、腎癌におけるアポトーシス抑制因子サバイビンに関する分子標的治療の研	戸部 賢	麻酔科蘇生科	1,170,000	補	文部科学省
前立腺癌、腎癌におけるアポトーシス抑制因子サバイビンに関する分子標的治療の研究	小池 秀和	泌尿器科	1,430,000	補	文部科学省
メバロン酸経路をターゲットとした前立腺癌治療への基礎的研究	野村 昌史	器官代謝制御学講座泌尿器科学	1,300,000	補	文部科学省
光障害による眼疾患の分子生物学的メカニズム	秋山 英雄	眼科	1,170,000	補	文部科学省
microRNA(miRNA)のLH作用機構における関与の解	峯岸 敬	産科婦人科・周産母子センター—医療人能力開発センター	7,670,000	補	文部科学省
薬剤抵抗性の発現機構解明と薬動力学解析に基づく対処法の構築	山本 康次郎	薬剤部	2,080,000	補	文部科学省
リポ蛋白質の相反する作用の決定因子としてのリゾリン脂質シグナル分子	桑原 敦志	感染制御部	1,950,000	補	文部科学省
リン酸化TDP-43の測定系の確立と免疫電顕による細胞内局在の検討	藤田 行雄	神経内科	2,730,000	補	文部科学省
インターロイキン24の調節リウマチにおける役割	黒岩 卓	第三内科	1,950,000	補	文部科学省
メタゲノムを用いた病院環境の微生物分布の解析と院内感染対策への応用	徳江 豊	感染制御部	1,690,000	補	文部科学省
高次脳機能障害患者の呈する社会不適応要因の抽出についての研究	米村 公江	精神科神経科	1,430,000	補	文部科学省
統合失調症と気分障害の社会認知障害評価における光トポグラフィの実用化	成田 秀幸	精神科神経科	1,690,000	補	文部科学省
敗血症性中枢神経障害での脳内転写因子活性と治療法の確立	門井 雄司	手術部	2,470,000	補	文部科学省
肝細胞癌増殖因子トランスジェニックマウスを用いた横紋筋肉発癌機構の解析	市川 武	肝臓・代謝内科	1,690,000	補	文部科学省
PPARガンマKOマウスを用いた敗血症モデル毛細血管内皮細胞の果たす役割の検証	國元 文生	集中治療部	1,300,000	補	文部科学省
口腔ケラチノサイトのエネルギー代謝と分化再生能を指標とした創傷治療マーカーの	横尾 聡	歯科口腔外科	2,470,000	補	文部科学省
EGFR遺伝子増幅を指標とした膠芽腫浸潤範囲の描出と周囲の組織反応の検討	宮永 朋美	病理部	2,990,000	補	文部科学省
神経変性疾患に対するリハビリテーション効果と高次脳機能障害との関連に関する	宗宮 真	リハビリテーション部	1,170,000	補	文部科学省
薛β細胞におけるTRHの作用解析	渋沢 信行	内分泌内科	2,210,000	補	文部科学省
ガドリニウムによる線維化・石灰化機序の解明	岡田 悦子	皮膚科	1,690,000	補	文部科学省
乳癌における新たな治療戦略としてのステロイド・アンド・ゼノバイオテク受容体発現	六反田 奈和	第二外科	2,730,000	補	文部科学省
TGF-βによる血管新生促進システムPDGF-AA/p70SK6抑制機構の意義	藤井 孝明	第一外科	2,730,000	補	文部科学省
新規光感受性物質を用いた悪性神経腫に対する光線力学療法の基礎実験	菅原 健一	脳神経外科	2,600,000	補	文部科学省
神経再生と神経分化制御因子を用いた神経障害性疼痛治療法の開発	関本 研一	腫瘍センター	1,690,000	補	文部科学省
複合的非侵襲的指標で算出する新規の集中治療予後予測スコア作成	大川 牧生	集中治療部	2,080,000	補	文部科学省

神経障害性疼痛に対する抗うつ薬の鎮痛機序の解明	中島 邦枝	麻酔科蘇生科	1,560,000	補	文部科学省
一過性脳虚血に対する前庭神経細胞の脆弱性の解明	高安 幸弘	耳鼻咽喉科	3,640,000	補	文部科学省
低酸素状態にある正常脳細胞・悪性脳腫瘍細胞の放射線感受性の修飾に関する研究	AL-JAHDAWI,S	放射線科	600,000	補	文部科学省
サイクロトロン製造核種 ⁶⁴ Cu標識抗体を用いたPET診断・疫治療	PAUDYAL,B.	核医学科	800,000	補	文部科学省
顎骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法に関する研究	遠藤 啓吾	核医学科・放射線部	8,003,000	補	厚生労働省
在宅医療への遠隔医療実用実施手順の策定	酒巻 哲夫	医療情報部	5,000,000	補	厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	荒川 浩一	小児科・周産母子センター	2,000,000	補	厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	小林 徹	生体防御機構学講座小児科学	1,100,000	補	厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	中村 哲也	臨床試験部	9,000,000	補	厚生労働省
高IgD症候群に対する細胞分子生物学的手法を駆使した診療基盤技術の開発	荒川 浩一	小児科・周産母子センター	1,500,000	補	厚生労働省
創傷皮膚科学の樹立による褥瘡の病態解明と診療体型に関する研究	石川 治	皮膚科	1,000,000	補	厚生労働省
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	石川 治	皮膚科	900,000	補	厚生労働省
気管支喘息の診断、治療判定のための簡便な指標としての簡易な気道炎症マーカーの検討ー呼気NO測定オフライン法のかかりつけ医での応用の可能性ー	石塚 全	呼吸器・アレルギー内科	1,000,000	補	厚生労働省
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する	岡本 幸市	神経内科・臨床試験部	1,300,000	補	厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	岡本 幸市	神経内科・臨床試験部	1,000,000	補	厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	岡本 幸市	神経内科・臨床試験部	200,000	補	厚生労働省
特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究	岡本 幸市	神経内科・臨床試験部	1,000,000	補	厚生労働省
スモンに関する調査研究	岡本 幸市	神経内科・臨床試験部	700,000	補	厚生労働省
院内がん登録の標準化と普及に関する研究	岡村 信一	医療情報部	700,000	補	厚生労働省
甲状腺がんの全臨床学調査に基づいた診断基準(第1版)の検証と改訂、発症メカニズムの解明、治療指針の作成	佐藤 哲郎	内分泌内科	800,000	補	厚生労働省
粒子線治療の有効性、適応、費用対効果に関する総合研究	中野 隆史	放射線科	1,000,000	補	厚生労働省
センチネルリンパ節理論による頭頸部癌微小転移の解明と個別化治療法の開発	古屋 信彦	耳鼻咽喉科	1,100,000	補	厚生労働省
優性遺伝形式をとる遺伝性難聴に関する調査研究	古屋 信彦	耳鼻咽喉科	1,000,000	補	厚生労働省
国内外の精神科医療における疾病分類に関する研究	三國 雅彦	精神科・神経科	300,000	補	厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	森 昌朋	内分泌・糖尿病内科・光学医療診療部・遺伝子診療部	2,800,000	補	厚生労働省
ホルモン受容体異常に関する調査研究	森 昌朋	内分泌・糖尿病内科・光学医療診療部・遺伝子診療部	1,800,000	補	厚生労働省
がん専門医療施設を活用したがん治療の標準化に関する共同研究	遠藤 啓吾	核医学科・放射線部	11,750,000	補	国立がん研究センター

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Pharmacol Sci. 2010 ;112(1):33-6.	New frontiers in gut nutrient sensor research: monosodium L-glutamate added to a high-energy, high-protein liquid diet promotes gastric emptying: a possible therapy for patients with functional dyspepsia.	Kusano M	第一内科
Curr Drug Targets. 2009 ;10(11):1156-1163.	Xenobiotic-sensing nuclear receptors CAR and PXR as drug targets in cholestatic liver disease.	Kakizaki S	第一内科
Lung Cancer. 2010 ;69(1):99-104	A phase II study of amrubicin, a synthetic 9-aminoanthracycline, in patients with previously treated lung cancer.	Kaira K	第一内科
J Nucl Med. 2009 ;50(11):1770-6	¹⁸ F-FMT uptake seen within primary cancer on PET helps predict outcome of non-small cell lung cancer.	Kaira K	第一内科
Histopathology. 2009 ;54(7):804-13	L-type amino acid transporter 1 expression is a prognostic marker in patients with surgically resected stage I non-small cell lung cancer.	Imai H	第一内科
J Immunol. 2009 ;182(9):5225-31.	PI3K p110beta positively regulates lipopolysaccharide-induced IL-12 production in human macrophages and dendritic cells and JNK1 plays a novel role.	Utsugi M	第一内科
Endocrinology. 2009 ;150(7):3283-90.	Tat-binding protein-1 (TBP-1), an ATPase of 19S regulatory particles of the 26S proteasome, enhances androgen receptor function in cooperation with TBP-1-interacting protein/Hop2.	Satoh T	第一内科
Endocrinology. 2009 ;150(7):3417-24	Carbohydrate response element binding protein gene expression is positively regulated by thyroid hormone.	Hashimoto K	第一内科
Endocrinology. 2009 ;150(7):3425-32	Aberrant histone modifications at the thyrotropin-releasing hormone gene in resistance to thyroid hormone: analysis of F455S mutant thyroid hormone receptor.	Umezawa R	第一内科
Biochem Biophys Res Commun. 2010 Apr 2;394(2):243-8	Fibroblast growth factor-2 induces osteogenic differentiation through a Runx2 activation in vascular smooth muscle cells.	中原健裕	第二内科
Eur Heart J. 2010 Jan;31(1):58.	Collaboration between cardiac computed tomography and echocardiography in complex anomalies.	中原健裕	第二内科
Eur Heart J. 2010 Jan;31(1):58.	Three-dimensional electroanatomical mapping-guided catheter ablation of ventricular tachycardia originating in the left anterior papillary muscle.	入江忠信	第二内科
J Cardiovasc Electrophysiol. 2009 Oct;20(10):1173.	Electroanatomical endocardial mapping of the specialized conduction system in corrected transposition of the great arteries.	中原健裕	第二内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2009 Jul;29(7):1104-11	Notch signaling induces osteogenic differentiation and mineralization of vascular smooth muscle cells: role of Msx2 gene induction via Notch-RBP-Jk signaling.	清水岳久	第二内科
Pacing Clin Electrophysiol. 2009 Mar;32 Suppl 1:S72-5.	Discrimination between His-bundle and the right bundle branch during electrophysiologic studies.	金古善明	第二内科
J Am Soc Echocardiogr. 2009 May;22(5):542.e1-4.	Infective endocarditis complicated by mycotic aneurysm of a coronary artery with a perforated mitral valvular aneurysm.	根岸一明	第二内科
Biochem Biophys Res Commun. 2009 Apr 17;381(4):654-9.	Notch signaling regulates the differentiation of bone marrow-derived cells into smooth muscle-like cells during arterial lesion formation	土井 宏	第二内科

Clin Pharmacol Ther. 85(5):527-30. 2009	Pro32Thr Polymorphism of Inosine Triphosphate Pyrophosphatase Gene Predicts Efficacy of Low-Dose Azathioprine for Patients With Systemic Lupus Erythematosus.	Okada T, Nakamura K, Hiromura K, Nojima Y, Horiuchi R, Yamamoto K	第三内科
Int J Hematol. 2009 May;89(4):517-22	Low burden of a JAK2-V617F mutated clone in monoclonal haematopoiesis in a Japanese woman with Budd-Chiari syndrome.	Toyama K, Karasawa M, Yamane A, Koiso H, Yokohama A, Uchiumi H, Saitoh T, Handa H, Sato K, Takagi H, Miyawaki S, Murakami H, Nojima Y, Tsukamoto N.	第三内科
AIDS. 2009 Apr 27;27(7):761-9	Broad usage spectrum of G protein-coupled receptors as coreceptors by primary isolates of HIV.	Shimizu N, Tanaka A, Oue A, Mori T, Ohtsuki T, Apichartpiyakul C, Uchiumi H, Nojima Y, Hashimoto Y	第三内科
Pathol Oncol Res. 2009 Mar 20	Hairy Cell Leukemia-Related Disorders Consistently Show Low CD27 Expression.	4. Hashimoto Y, Tsukamoto N, Nakahashi H, Yokohama A, Saitoh T, Handa H, Matsushima T, Murakami H, Nojima Y, Karasawa M.	第三内科
Cancer Sci. 2009 Apr;100(4):671-7	Characterization of immunoglobulin heavy and light chain gene expression in chronic lymphocytic leukemia and related disorders.	Nakahashi H, Tsukamoto N, Hashimoto Y, Koiso H, Yokohama A, Saitoh T, Uchiumi H, Handa H, Murakami H, Nojima Y, Karasawa M.	第三内科
Nephrol Dial Transplant. 24(8):2378-83.	Fluvastatin prevents podocyte injury in a murine model of HIV-associated nephropathy.	Sakurai N, Kuroiwa T, Ikeuchi H, Hiramatsu N, Takeuchi S, Tomioka M, Shigehara T, Maeshima A, Kaneko Y, Hiromura K, Kopp JB, Nojima Y.	第三内科
Eur J Haematol. 2009 Mar;82(3):201-7	Clinical significance of regulatory T cells in patients with myelodysplastic syndrome.	Hanada W, Ogawara H, Handa H, Tsukamoto N, Nojima Y, Shimizu N	第三内科
AIDS 23:761-769, 2009	Broad usage spectrum of G protein-coupled receptors as coreceptors by primary isolates of HIV.	Shimizu N, Tanaka A, Oue A, Mori T, Ohtsuki T, Apichartpiyakul C, Uchiumi H, Nojima Y, Hashimoto Y	第三内科
Int J Soc Psychiatry. 2010 Jan;56(1):15-22.	Follow-up study of female delinquent adolescents in a detention centre: effectiveness of psychiatric intervention as a mental health service.	Ariga M, Uehara T, Takeuchi K, Ishige Y, Nakano R, Mikuni M.	精神神経科

Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2010 Feb 1;34(1):244-6.	Total and regional brain volume reductions due to the Syndrome of Irreversible Lithium-Effectuated Neurotoxicity (SILENT): a voxel-based morphometric study.	Ikeda Y, Kameyama M, Narita K, Takei Y, Suda M, Aoyama Y, Yuuki N, Sakurai N, Fukuda M, Mikuni M, Amanuma M.	精神神経科
Neuropsychologia. 2010 Jan;48(2):441-7.	Frontopolar activation during face-to-face conversation: an in situ study using near-infrared spectroscopy.	Suda M, Takei Y, Aoyama Y, Narita K, Sato T, Fukuda M, Mikuni M.	精神神経科
Pharmacopsychiatry. 2009 May;42(3):122-3.	A case of lithium intoxication with periodic sharp waves.	Suda M, Kubota F, Aihara Y, Hiraoka T, Aoyama Y, Hattori S, Fukuda M, Mikuni M.	精神神経科
J Immunol. 182(1):293-300. 2009	Double-stranded RNA and TGF-alpha promote MUC5AC induction in respiratory cells.	Tadaki H, Arakawa H, Mizuno T, Suzuki T, Takeyama K, Mochizuki H, Tokuyama K, Yokota S, Morikawa A.	小児科
Pediatr Nephrol. 24:489-495. 2009	Polymorphisms in interleukin-4-related genes in patients with minimal change nephrotic syndrome.	Ikeuchi Y, Kobayashi Y, Arakawa H, Suzuki M, Tamura K, Morikawa A.	小児科
Pediatr Allergy Immunol. 20:227-233. 2009	Association of cord blood cytokine levels with wheezy infants in the first year of life.	Tadaki H, Arakawa H, Sugiyama M, Ozawa K, Mizuno T, Mochizuki H, Morikawa A.	小児科
Pediatr Dermatol. 26(2):223-5. 2009	Effects of skin care with shower therapy on children with atopic dermatitis in elementary schools.	Mochizuki H, Muramatsu R, Tadaki H, Mizuno T, Arakawa H, Morikawa A.	小児科
Br J Dermatol. 160(5):972-9. 2009	Evaluation of out-in skin transparency using a colorimeter and food dye in patients with atopic dermatitis.	Mochizuki H, Tadaki H, Takami S, Muramatsu R, Hagiwara S, Mizuno T, Arakawa H.	小児科
Ann Allergy Asthma Immunol. 102(6):469-74. 2009	Effect of bronchoconstriction on exhaled nitric oxide levels in healthy and asthmatic children.	Tadaki H, Mochizuki H, Muramatsu R, Hagiwara S, Takami S, Mizuno T, Arakawa H.	小児科
Inflammation. 32(4):252-64. 2009	RS virus-induced inflammation and the intracellular glutathione redox state in cultured human airway epithelial cells.	Mochizuki H, Todokoro M, Arakawa H.	小児科
Neonatology. 29:96(4):219-225. 2009	Periventricular Echodensity Measured with the Integrated Backscatter System: From a Qualitative Assessment to a Quantitative Approach.	Yoshizawa T, Watanabe M, Ohki Y, Tokuyama K, Mayuzumi H, Takahashi Y, Morikawa A.	小児科
Ann Allergy Asthma Immunol. 103(3):201-5. 2009	Relationship between bronchial hyperreactivity and asthma remission during adolescence.	Mochizuki H, Muramatsu R, Hagiwara S, Takami S, Mizuno T, Arakawa H.	小児科

Pediatr Infect Dis J. 28(6):498-502. 2009	Risk Stratification in the Decision to Include Prednisolone With Intravenous Immunoglobulin in Primary Therapy of Kawasaki Disease.	Kobayashi T, Inoue Y, Otani T, Morikawa A, Kobayashi T, Takeuchi K, Saji T, Sonobe T, Ogawa S, Miura M, Arakawa H.	小児科
Am Surg 75:331-334	Treatment of hyperinsulinemic hypoglycemia due to diffuse nesidioblastosis in adults: a case report.	Toyomasu Y	第一外科
Ann Surg Oncol 16:1704-1710	Correlation between connexin 26 expression and poor prognosis of esophageal squamous cell carcinoma.	Inose T	第一外科
Ann Surg Oncol 16:2494-2501	Expression of lysyl oxidase is correlated with lymph node metastasis and poor prognosis in esophageal squamous cell carcinoma.	Sakai M	第一外科
Ann Surg Oncol 16:761-771	Inhibition of autophagy by 3-MA enhances the effect of 5-FU-induced apoptosis in colon cancer cells.	Li J	第一外科
Anticancer Res 29:3375-3380	Clinicopathological and immunohistochemical characteristics of esophageal	Sano A	第一外科
Anticancer Res 29:965-970	Overexpression of Cap43 is associated with malignant status of esophageal cancer.	Sohda M	第一外科
Br J Surg 96:901-909	Prognostic significance of the expression of MUC1 and collagen type IV in advanced gastric carcinoma.	Ando H	第一外科
CANCER 115:3196-3203	The Clinical Application of F-18-fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography to Predict Survival in Patients With Operable Esophageal Cancer.	Kato H	第一外科
Cancer Res 69:3788-3794	p53-Altered FBXW7 expression determines poor prognosis in gastric cancer cases.	Yokobori T	第一外科
Cancer Res 69:4309-4318	Cyclophosphamide augments antitumor immunity: studies in an autochthonous prostate cancer model.	Wada S	第一外科
Dig Dis Sci 54:1208-1213	Glutamine decreases the duration of postoperative ileus after abdominal surgery: an experimental study of conscious dogs.	Ohno T	第一外科
Esophagus 6(3):155-159	Management of esophageal foreign bodies: experience of 90 cases.	Miyazaki T	第一外科
GASTRIC CANCER 12:142-147	Pilot study to assess the safety of local lidocaine injections during endoscopic submucosal dissection for early gastric	Kiryama S	第一外科
Hepato-Gastroenterol 56:1078-1081	Laparoscopy-assisted ileocecal resection for mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma of the appendix: case report.	Toyomasu Y	第一外科
Hepato-Gastroenterol 56:1241-1244	Correlation between serum triglycerides and gastro-duodenal ulcer associated with low-dose aspirin.	Fujii T	第一外科
Hepato-Gastroenterol 56:1411-1413	Gastric Bleeding from a Penetrating Pancreatic Pseudocyst with Pseudoaneurysm of the Splenic Artery.	Araki K	第一外科
Hepato-Gastroenterol 56:641-644	Statin use and risk of gastroduodenal ulcer and reflux esophagitis.	Fujii T	第一外科
Hepato-Gastroenterol 56:656-658	The efficacy of prophylactic administration of SBT/ABPC for preventing surgical site infection in elderly patients undergoing colorectal surgery.	Tsutsumi S	第一外科
Int J Oncol 35:1117-1121	Phosphoglucose isomerase enhances colorectal cancer metastasis.	Tsutsumi S	第一外科
Int Surg 93:209-213	Clinical Applications of 18F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography in Gastrointestinal Stromal Tumor of the Esophagus.	Sakai M	第一外科

J Biol Chem 284:32305-32311	Phosphoglucose isomerase/autocrine motility factor promotes melanoma cell migration through ERK activation dependent on autocrine production of interleukin-8.	Araki K	第一外科
J Pediatr Hematol Oncol 31:45-48	Adolescent wilms tumor with intraspinal and bone metastases: a case report and the review of literature.	Watanabe R	第一外科
J Pediatr Surg 44:e31-e35	Manifestation of alveolar rhabdomyosarcoma as primary cutaneous lesions in a neonate with Beckwith-Wiedemann syndrome.	Kuroiwa M	第一外科
J Thorac Oncol 4:22-29	Prognostic implication of EGFR, KRAS, and TP53 gene mutations in a large cohort of Japanese patients with surgically treated lung adenocarcinoma.	Kosaka T	第一外科
Mutat Res-Fundam Mol Mech Mutagen 666:74-78	Functional screen of human MCM2-7 variant alleles for disease-causing potential.	Yamaguchi S	第一外科
Surg Today 39:807-810	Succession perioperative management of patients with Parkinson's disease following gastrointestinal surgery: report of three	Fujii T	第一外科
Int Surg 94:176-181	Macrocystic Serous Cystadenoma Mimicking Branch Duct Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm.	Kobayashi T	第一外科
Hepato-Gastroenterol 56:1760-1764	Factors Correlated with Early and late Recurrence after Curative Gastrectomy for Gastric Cancer.	Ogata K	第一外科
Int Surg. 94:335-338,	Case of Bochdalek hernia in the elderly: Success with laparotomy.	Yamauchi H	第一外科
Esophagus 6: 209-213	Report of a case: esophageal cancer response to chemotherapy evaluated by	Inose T	第一外科
Int Surg. 2010 Jan-Mar;95(1):60-2.	Primary mucinous adenocarcinoma of the ileum: Case report	Toyomasu Y	第一外科
Int J Colorectal Dis. 2010 Jan;25(1):53-61., 2010	Characterization of special propulsive contractions during rectal evacuation in a canine model of intestinal extrinsic denervation and rectal transection.	Tabe Y	第一外科
Cancer Sci. 2010 Feb 25., 2010	Quantitative analysis of cisplatin sensitivity of human esophageal squamous cancer cell lines using in-air micro-PIXE.	Tanaka N	第一外科
ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY 17: S69-S69 Suppl. 1 FEB 2010, 2010	Clinical significance of miR-125b expression in colorectal cancer patients.	Yokobori T	第一外科
ANTICANCER RESEARCH 30 (3): 851-856 MAR 2010, 2010	Significance of Karyopherin-alpha 2 (KPNA2) Expression in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Sakai M	第一外科
WORLD JOURNAL OF SURGERY 34 (3): 544-548 MAR 2010, 2010	Implication of Extracapsular Invasion of Sentinel Lymph Nodes in Breast Cancer: Prediction of Nonsentinel Lymph Node Metastasis.	Fujii T	第一外科
臨床外科(0386-9857).65巻2号. Page208-215(2010.02.):解説/特集	【外科医に必要なPET検査の知識 その有用性と問題点】食道癌診療におけるPETの有用性と問題点	宮崎達也, 宗田真, 田中成岳, 加藤広行, 桑野博行	第一外科
重粒子. 切らずに治すがん治療と医療最前線. pp153-157. 財団法人. 群馬健康医学振興会. 群馬大学医学部同窓会. 刀城クラブ編. 発行. 上毛新聞社事業局出版社. 2010年3月31日発行	第II章 病気の診断と治療の最前線 33 大腸がん	浅尾高行	第一外科

重粒子. 切らずに治すがん治療と医療最前線. pp164-167. 財団法人. 群馬健康医学振興会. 群馬大学医学部同窓会. 刀城クラブ編. 発行. 上毛新聞社事業局出版社. :2010年3月31日発行	第II章 病気の診断と治療の最前線 30 食道がん	桑野博行, 加藤広行	第一外科
重粒子. 切らずに治すがん治療と医療最前線. pp162-165. 財団法人. 群馬健康医学振興会. 群馬大学医学部同窓会. 刀城クラブ編. 発行. 上毛新聞社事業局出版社. :2010年3月31日発行	第II章 病気の診断と治療の最前線 32 胃がん(外科治療)	持木彫人, 桑野博行	第一外科
日本臨床. 68巻増刊号2. 肥満症. :pp653-655(2010.02)	肥満症(第2版) 基礎・臨床研究の進歩 肥満症の予防・治療学の進歩 外科的療法 周術期管理の留意点	持木彫人, 浅尾高行, 桑野博行	第一外科
臨牀と研究. 87巻3号. :Page365-370(2010.03)	【胃・食道疾患 診断のめざましい進歩】 食道病変の早期診断 食道内視鏡検査	田中成岳, 宮崎達也, 鈴木茂正, 酒井 真, 宗田真, 桑野博行	第一外科
日本臨床. 68巻増刊号2. 肥満症. :Page653-655(2010.02)	肥満症(第2版) 基礎・臨床研究の進歩 肥満症の予防・治療学の進歩 外科的療法 周術期管理の留意点	持木彫人, 浅尾高行, 桑野博行	第一外科
臨床外科. 65巻2号. :Page208-215(2010.02)	【外科医に必要なPET検査の知識 その有用性と問題点】 食道癌診療におけるPETの有用性と問題点	吉崎達也, 宗田真, 田中成岳, 加藤広行, 桑野博行	第一外科
Surgery. Frontier. 16巻4号. :Page499-503(2009.12)	腫瘍をめぐるQ&A(Question14) EMTについて、最近の研究を教えてください。	横堀武彦, 三森功士, 岩槻政晃, 田中文明, 桑野博行, 森 正樹	第一外科
臨床外科. 65巻1号. :Page30-40(2010.01)	【がん診療ガイドライン 臨床現場における有効活用法】 食道癌診断・治療ガイドラインの有効活用法	宗田 真, 桑野博行	第一外科
外科治療. 101巻5号. :Page570-577(2009.11)	【今日の食道癌診療】 Stage II/III食道癌に対する治療	田中成岳, 宗田真, 鈴木茂正, 酒井 真, 佐野彰彦, 宮崎達也, 桑野博行	第二外科
J Thorac Oncol 5(1):117-121, 2010	Primary thymic mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma: diagnostic tips.	Shimizu K, Yoshida J, Kakegawa S, Astumi J, Kaira	第二外科
J Mol Diagn 12(2): 257-264, 2010	Mutation detection of epidermal growth factor receptor and KRAS genes using the smart amplification process version 2 from formalin-fixed, paraffin-embedded lung cancer tissue	Miyamae Y, Shimizu K, Mitani Y, Araki T, Kawai Y, Baba M, Kakegawa S	第二外科
J Surg Res 2009	The Effect of Nicorandil on Ischemia-Reperfusion Injury in a Porcine Total Hepatic Vascular Exclusion Model.	Yamazaki H, Oshima K, Sato H, Kobayashi K, Suto Y, Hirai K	第二外科
World J Gastroenterol 15(36):4571-4575, 2009.	Hemoperfusion with polymyxin B-immobilized fiber column improves liver function after ischemia-reperfusion injury.	Sato H, Oshima K, Kobayashi K, Yamazaki H, Suto Y, Takeyoshi I	第二外科
J Invest Surg 22(4):239-245, 2009	The effects of cyclooxygenase (COX)-2 inhibition on ischemia-reperfusion injury in liver transplantation.	Oshima K, Yabata Y, Yoshinari D, Takeyoshi I	第二外科
Int Heart J 50(2): 235-245, 2009	The suppression of proinflammatory cytokines improves heart function from non-heart-beating donors following transplantation	Oniki S, Oshima K, Tsutsumi H, Koike N, Matsumoto K	第二外科

J Biol Chem 284(26): 17711- 17719, 2009	Activation of aromatase expression by retinoic acid receptor-related orphan receptor (ROR) alpha in breast cancer cells: identification of a novel ROR response element	Odawara H, Iwasaki T, Horiguchi J, Rokutanda N, Hironaka K, Horiguchi J, Oyama T, Koibuchi Y, Yokoe T, Takata D, Ikeda F	第二外科
Anticancer Res 29(2): 517-524, 2009	Neoadjuvant weekly paclitaxel with and without trastuzumab in locally advanced or metastatic breast cancer.	Horiguchi J, Oyama T, Koibuchi Y, Yokoe T, Takata D, Ikeda F	第二外科
Eur Spine J. 18(10): 1431-1435, 2009	Diagnosis of a previously unidentified primary site in patients with spinal metastasis: diagnostic usefulness of laboratory analysis, CT scanning and CT-guided biopsy.	飯塚 陽一	整形外科
Eur Spine J. 18(8): 1130-1134, 2009	The characteristics of bony ankylosis of the facet joint of the upper cervical spine in rheumatoid arthritis patients.	飯塚 伯	整形外科
J Tissue Eng Regen Med. 3(5): 361-367, 2009	Konjac glucomannan-based hydrogel with hyaluronic acid as a candidate for a novel scaffold for chondrocyte culture.	近藤 尚行	整形外科
J Orthop Surg (Hong Kong). 17(1): 56-61, 2009	Cytokine synthesis by chondroblastoma: relation to local inflammation.	内川 千恵	整形外科
J Neurosurg Spine. 10(3): 260-264, 2009	Foot drop due to lumbar degenerative conditions: mechanism and prognostic factors in herniated nucleus pulposus and lumbar spinal stenosis.	飯塚 陽一	整形外科
Clin Imaging. 33(2): 154-157, 2009	Involvement of the proximal tibial epiphysis by monostotic fibrous dysplasia.	武智 瑠美	整形外科
Acta Orthop. 80(1): 9-13, 2009	Curettage of benign bone tumors without grafts gives sufficient bone strength.	柳川 天志	整形外科
Biochim Biophys Acta. 1791(3): 173- 182, 2009	Identification of nuclear localization and nuclear export signals in Ets2, and the transcriptional regulation of Ets2 and CTP:phosphocholine cytidyltransferase alpha in adecanoyl-13-acetate or macrophage-colony stimulating factor stimulated RAW264 cells.	岡邨 興一	整形外科
Prosthetics and Orthotics International. 33(2): 173-178, 2009	Extended application of WISH type S-form hip brace for patients with bilateral painful hip osteoarthritis: Report of two cases.	佐藤 貴久	整形外科
Kitakanto Med J 2009. 59: 131-135, 2009	Anterior Cruciate Ligament Reconstruction using Hamstring Tendon.	畑山 和久	整形外科
Kitakanto Med J 2009. 59: 1-7, 2009	Clinical results of posterior lumbar interbody fusion using titanium intervertebral spacers in elderly patients over 70 years.	井野 正剛	整形外科
臨床整形外科. 44(2): 207-211, 2009	慢性肩石灰沈着性腱板炎に対する体外衝撃波治療の経験.	滝 正徳	整形外科
関東膝を語る会 誌. 25: 51, 2009	内側ハムストリング腱により弾撥膝を発症した1例.	大澤 貴志	整形外科
Hip Joint. 35: 630- 634, 2009	WISH型股関節用S字型装具の股関節機能評価.	佐藤 貴久	整形外科
Hip Joint. 35: 652- 656, 2009	片側変形性股関節症例におけるFDG-PETを用いた人工股関節置換術前後の股関節周囲筋代謝の変化.	佐藤 貴久	整形外科
整形外科最小侵襲 ジャーナル. 51: 27- 33, 2009	距骨骨軟骨障害に対する鏡視下骨片固定術の経験.	長谷川 惇	整形外科
関節鏡. 34: 267- 271, 2009	膝窩筋腱大腿骨付着部裂離骨折の1例.	柳澤 真也	整形外科
日本足の外科学会 雑誌. 30: 82-86, 2009	スポーツにより発症した脛骨内果疲労骨折の5例.	柳澤 真也	整形外科
臨床スポーツ医学. 26(8): 943-948. 分 光堂. 2009年8月1日	「見過ごされやすいスポーツ外傷・障害 画像診断の特徴とピットフォール」上肢の画像診断とその特徴.	小林 勉	整形外科

Journal of Clinical Rehabilitation. 18(8): 680-684. 医歯薬出版(株). 2009年8月15日	「リハからみた五十肩」五十肩とは.	設楽 仁	整形外科
MB Med REha. 105: 27-31. 2009年	変形性膝関節症に対するヒアルロン酸ナトリウム関節内注入療法とリハビリテーション.	清水 雅樹	整形外科
臨床整形外科. 44(3): 276-278.	整形外科／知ってるつもり 肩こり.	高岸 憲二	整形外科
関節外科. 28(6): 15-22. 2009	類骨骨腫のCTガイド下ラジオ波焼灼法 特集: 整形外科疾患におけるinterventional	篠崎 哲也	整形外科
Orthopaedics. 22(5): 47-53. 2009	、高岸 憲二: 肩関節 腱板損傷【すぐに役立つ日常整形外科診療に対する私の工夫】.	大沢 敏久	整形外科
臨床整形外科. 44(8): 824. 2009	研修医のための整形外科診療「これだけは！」高橋 正明(編).	高岸 憲二	整形外科
肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎に対する治療の現状と今後の展望. 8-10. アステラス製薬株式会社2009年10月1日, 東京都	肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎に対する治療の現状と今後の展望 Astellas Square 明日の医療を考える: 5(5).	高岸 憲二	整形外科
J Bone Joint Surg Br. 2010 Mar;92(3):419-23.	Role of 2-deoxy-2-[F-18] fluoro-D-glucose positron emission tomography in the management of bone and soft-tissue metastases.	柳川 天志	整形外科
Skeletal Radiol. 2010 Feb 23.	Multiple subcutaneous inflammation, osteolysis, and polyarthritis.	武智 泰彦	整形外科
Clin Imaging. 2009 Sep-Oct;33(5):406-	Fibroma of tendon sheath of the infrapatellar fat pad in the knee.	岡田 純幸	整形外科
J Shoulder Elbow Surg. 2010 Jan-Feb;19(1):116-20.	Prevalence and risk factors of a rotator cuff tear in the general population.	山本 敦史	整形外科
Clin Imaging. 2009 Mar-Apr;33(2):154-	Involvement of the proximal tibial epiphysis by monostotic fibrous dysplasia.	武智 瑠美	整形外科
Acta Orthop. 2009 Feb;80(1):9-13.	Curettage of benign bone tumors without grafts gives sufficient bone strength.	柳川 天志	整形外科
肩関節. 33(2): 419-422. 2009	腱板断裂における夜間痛の背景因子と腱板修復術の術後成績に与える影響	山本 敦史	整形外科
肩関節. 33(3): 689-692. 2009	腱板修復術後のヒアルロン酸関節内投与の有効性	一ノ瀬 剛	整形外科
臨床整形外科. 45(7): 597-601. 2010	地域住民における運動器不安定性の疫学調査	細川高史	整形外科
肩関節. 34(2): 471-4. 2010	姿勢異常が肩関節痛および腱板断裂に及ぼす影響	山本敦史	整形外科
肩関節鏡下手術アトラス 肩関節鏡下手術. 133. 米田稔編集. 文光堂. 2010年5月27日, 東京都	関節鏡下手術Q&A 症候性の腱板断裂と痛みのない腱板断裂とでは何が違うのでしょうか?	山本敦史	整形外科
Orthopaedic Visual Best 整形外科手術テクニックIV 肩関節編. 53-63. 高岸憲二編集. メディカ出版. 2010年10月15日, 東京都	反復性肩関節脱臼に対する鏡視下Bankart法	山本敦史	整形外科

Rheumatology (Oxford)48(12):1570-1574, 2009	Clinical usefulness of anti-RNA polymerase III antibody measurement by enzyme-linked immunosorbent assay.	Satoh T, Ishikawa O, Ihn H, Endo H, Kawaguchi Y, Sasaki T, Goto D, Takahashi K, Takahashi H, Misaki Y, Mimori T, Muro Y, Yazawa N, Sato S, Takehara K, Kuwana M	皮膚科
Wound Repair Regen17(4):589-597, 2009	Mammalian Diaphanous (mDia) may be involved in the signal transduction of sphingosine-1-phosphate on developing actin stress fiber of human fibroblasts.	Syuto T, Abe M, Yokoyama Y, Ishikawa O.	皮膚科
J Dermatol 36(4):197-201, 2009	Clinical usefulness of a supplementary cyclosporin administration with a topical application of maxacalcitol ointment for patients with moderate psoriasis vulgaris.	Abe M, Syuto T, Hasegawa M, Yokoyama Y, Ishikawa O.	皮膚科
Clin Rheumatol28(7):841-845, 2009 Feb 18. [Epub ahead of print]	Association of antiphosphatidylserine/prothrombin antibodies with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus.	Syuto T, Shimizu A, Takeuchi Y, Tanaka S, Hasegawa M, Nagai Y, Tamura A, Ishikawa O.	皮膚科
Eur J Dermatol 19(1):57-60, 2009 Jan-Feb; 2008 Dec 5. [Epub ahead of print]	Cutaneous manifestations and histological features of microscopic polyangiitis.	Nagai Y, Hasegawa M, Igarashi N, Tanaka S, Yamanaka M, Ishikawa O.	皮膚科
Lupus 18(7):655-658, 2009	Lupus cystitis: a case report and review of the literature.	Shimizu A, Tamura A, Tago O, Abe M, Nagai Y, Ishikawa O.	皮膚科
Acta DermVenereol89(5):502-504, 2009	Leg ulceration in chronic venous insufficiency caused by an absent inferiorvena cava.	Amano H, Nagai Y, Endo Y, Iwasaki T, Ishikawa O.	皮膚科
Dermatology 34: e14-17, 2009	Persitent Urticaria -Characterized by Recurrent Lasting Urticarial Erythema with Histological Features of Prominent Perivascular Eosinophilic Infiltration- Clinical and Experimental	Amano H, Nagai Y, Ishikawa O.	皮膚科
Acta DermVenereol89(4):398-401, 2009	D igital gangrene in systemic lupuserythematosus.	Nagai Y, Shimizu A, Suto M, Tanaka S, Yasuda M, Tago O, Hasegawa M, Ishikawa O.	皮膚科
Acta DermVenereol89(4):408-409, 2009	Fatal case of Darier' s disease with recurrent severe infections.	Okada E, Nagai Y, Motegi S-I, Tamura A, Ishikawa O.	皮膚科
Eur J Dermatol 19(4):398-399, 2009	Multiple apocrine hidrocystomas of the eyelids treated with trichloroacetic acid.	Shimizu A, Tamura A, Ishikawa O.	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol23(6):708-710, 2009	A novel missense mutation in the PAX3 gene in a case of Waardenburg syndrome type I.	Nakamura M, Ishikawa O, Tokura Y.	皮膚科
Dermatology 34: e14-17, 2009	Persistent urticaria-characterized by recurrent lasting urticarial erythema with histological features of prominent perivascular eosinophilic Infiltration- Clinical and Experimental	Amano H, Nagai Y, Ishikawa O.	皮膚科
THE NIPPON MEDICAL JOURNAL. 59 259-262, 2009	Detection of COL1A1-PDGFB fusion transcripts in dermatofibrosarcoma protuberans.	Okada E, Yasuda M, Tamura A, Ishikawa O.	皮膚科

漢方と最新治療 18(2):143-149, 2009	十全大補湯の褥瘡に対する効果の検討	永井弥生, 長谷川道子, 田子修, 岡田悦子, 天野博雄, 石川治	皮膚科
褥瘡学会誌 11(2):105-111, 2009	褥瘡に対する記載潰瘍学の確立とその有用性.	永井弥生 磯貝善三 古田勝経 石川治.	皮膚科
日皮会誌 121(1):49-53, 2009	ステロイド外用により皮疹が修飾されたスポットリコーシスの2例 一群馬大学皮膚科の38例の検討を加えて	周東朋子 山中正義 天野博雄 石川治.	皮膚科
皮膚の科学 8(6):781-784, 2009	水疱を形成した成人T細胞白血病/リンパ腫の1例.	井上千鶴 岡田悦子 田村敦志 石川治.	皮膚科
臨皮 63(11):837-839, 2009	Steatocystoma simplexの1例.	平井伸幸 菅原伸幸 永井弥生 石川治.	皮膚科
皮膚の科学 8(3):297-302, 2009	アトピー性皮膚炎に対するシクロスポリン短期投与における臨床効果とシクロスポリン血中濃度の検討.	天野博雄 山中正義 安部正敏 石川治.	皮膚科
日皮会誌 119(10):1985-1991, 2009	抗II型コラーゲン抗体陽性再発性多発軟骨炎の1例.	平井伸幸 天野博雄 山中正義 石川治.	皮膚科
皮膚病診療 31(9):1035-1038, 2009	脂肪織炎を初発症状とした皮膚筋炎.	岸 史子 永井弥生 曾我部陽子 石川治.	皮膚科
Skin Surgery 18(2):103-105, 2009	急速に増大し, 脂肪肉腫が疑われたspindle cell lipomaの1例.	安田正人 高橋基 岡田悦子 永井弥生 田村敦志 石川治.	皮膚科
皮膚病診療 31(5):569-572, 2009	Primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma.	藤加真生 長谷川道子 永井弥生 田村敦志 五十嵐直弥 石川治.	皮膚科
皮膚臨床 51(3):301-304, 2009	限局性類天疱瘡の1例.	矢田康子 曾我部陽子 洪沢弥生 永井弥生 石川治 大山文悟 橋本隆.	皮膚科
皮膚臨床 51(2):223-226, 2009	脂肪肉腫の2例.	長谷川道子 永井弥生 田村敦志 石川治 篠崎哲也.	皮膚科
Retina. 2010 30(3):425-30	Tomographic features of intraretinal neovascularization in retinal angiomatous proliferation.	Matsumoto H, Sato T, Kishi S.	眼科
Am J Ophthalmol. 2010 149(2):284-90	Restoration of photoreceptor outer segment after vitrectomy for retinal detachment.	Shimoda Y, Kishi S.	眼科
Retina. 2009 29(8):1193-4	Surgically induced posterior vitreous detachment by tearing the premacular vitreous cortex.	Otani T, Kishi S.	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2009 50(10):4905-16	Effect of intravitreal injection of high-dose bevacizumab in monkey eyes.	Sakurai K, Akiyama H, Kishi S.	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2009 247(8):1147-50	Intravitreal injection of 0.3 ml of SF6 gas for persistent subfoveal fluid after scleral buckling for rhegmatogenous retinal detachment.	Itakura H, Kishi S.	眼科
Ophthalmology. 2009 116(4):762-70	Restored photoreceptor outer segment damage in multiple evanescent white dot	Li D, Kishi S.	眼科
Am J Ophthalmol. 2009 148(1):105-10	Outer nuclear layer thickness at the fovea determines visual outcomes in resolved central serous chorioretinopathy.	Matsumoto H, Sato T, Kishi S.	眼科
The Japanese Journal of Antibiotics 62(2):155-177, April 2009	Tebipenem pivoxilの成人耳鼻咽喉科領域感染症患者を対象とした臨床試験における有用性・安全性およびPK-PD解析	古屋信彦	耳鼻咽喉科

Neuroscience 164: 1031-1043, 2009	Fluorescent Labeling of both Gabaergic and Glycinergic Neurons in Vesicular Gaba Transporter(VGAT)-VENUS Transgenic	王 英、古屋信彦	耳鼻咽喉科
Acta Physiol 197: 1-12	Functions of glutamate transporters in cerebellar Purkinje cell synapses	高安幸弘	耳鼻咽喉科
Int J Radiat Biol. 85:700-709,2009	The radiobiological effectiveness of carbon-ion beams on growing neurons.	Al-Jahdari WS, Suzuki Y, Nakano T	放射線科
Lung Cancer,63(2):247- 50,2009	Inoperable Pancoast tumors treated with hyperthermia-inclusive multimodality therapies.	Ebara T, Sakurai H, Nakano T	放射線科
Journal of Radiation Research,50(2):161- 169,2009	Ceramide Induces Myogenic Differentiation and Apoptosis in Drosophila Schneider Cells.	Hidemasa Kawamura, Takashi Nakano, Takashi Izumi	放射線科
Jpn.J.Med.Phys.28(4) : 172-206,2009	Research on Radiation Protection in the Application of New Technologies for Proton and Heavy Ion Radiotherapy.	Hirohiko TUJII, Tatsuya OHNO, Tatsuaki KANAI	放射線科
Jpn J Radiol 27:381-384,2009	Metastatic angiosarcoma of the lung with alveolar hemorrhage.	Jun-ichi Saitoh, Hideyuki Sakurai, Takashi Nakano	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 75(1):109-14.,2009	Phase I study of oral S-1 plus Cisplatin with concurrent radiotherapy for locally advanced non-small-cell lung cancer.	Kaira K, Ebara T, Nakano T	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys.,2009	Multi-Institutional Phase II Clinical Study of Concurrent Chemoradiotherapy for Locally Advanced Cervical Cancer in East and Southeast Asia.	Kato S, Ohno T, Nakano T	放射線科
J Radiat Res.50(2):161- 9,2009	Ceramide induces myogenic differentiation and apoptosis in Drosophila Schneider cells.	Kawamura H, Nakano T, Izumi T	放射線科
Int J Gynecol Cancer.19(7): 1264- 8,2009	Psychological distress and quality of life in cervical cancer survivors after radiotherapy: do treatment modalities, disease stage, and self-esteem influence outcomes?	Kobayashi M, Ohno T	放射線科
Semin Radiat Oncol.19(3):171- 178,2009	Molecular advances of brain tumors in radiation oncology.	Noda SE	放射線科
Semin Radiat Oncol.19(3):179- 186,2009	Technological Advances in Radiation Oncology for Central Nervous System Tumors.	Noda SE, Suzuki Y	放射線科
Radiat Res. 172(6):718-24,2009	Effect of Irradiation on the Development of Immature Hippocampal Neurons In Vitro.	Okamoto M, Suzuki Y, Nakano T	放射線科
J Neurooncol.91(3):35 3-8,2009	Nuclear Survivin Expression Predicts Poorer Prognosis in Glioblastoma.	Shirai K, Suzuki Y, Nakano T	放射線科
Cancer.115:1875- 82.,2009	Prognostic Impact of Mitotic Index Of Proliferating Cell Populations (pMI) in Cervical Cancer Patients Treated with Carbon Ion Beam.	Suzuki Y, Nakano N, Ohno T	放射線科
Magn Reson Imaging, 27(3):370- 6,2009	Prediction of early response to radiotherapy of uterine carcinoma with dynamic contrast-enhanced MR imaging using pixel analysis of MR perfusion imaging.	Takayama Y, Ohno T	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys 74(1):210- 218.,2009	Application of carbon-ion beams or gamma-rays on primary tumors does not change the expression profiles of metastatic tumors in an in vivo murine model.	Tamaki T, Iwakawa M, Ohno T	放射線科
Jpn J Clin Oncol.39(12): 813-9	Quality assurance in the prospective multi-institutional trial on definitive radiotherapy using high-dose-rate intracavitary brachytherapy for uterine cervical cancer	Toita T, Ohno T	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys.15;73(4):1033- 42,2009	Prognostic Value of Survivin in Locally Advanced Prostate Cancer: Study Based on RTOG 8610.	Zhang M, Suzuki Y	放射線科

日本医師会雑誌 138:132-133,2009	粒子線(荷電重粒子線)治療.	中野隆史	放射線科
医学物理.28(4): 142-171	重粒子線治療等新技术の医療応用に係る放射線防護のあり方に関する研究	大野達也、金井達明	放射線科
J Radiat Res. 51:215-21, 2010.	CT-based 3D dose-volume parameter of the rectum and late rectal complication in patients with cervical cancer treated with high-dose-rate intracavitary brachytherapy.	Kato S, Ohno T, Nakano T	放射線科
J Radiat Res. 51:325-32, 2010.	Protective effect of urinary trypsin inhibitor on the development of radiation-induced lung fibrosis in mice.	Katoh H, Ishikawa H, Nakano T.	放射線科
Neuroradiology	Clinical and imaging characteristics of localized megalencephaly: a retrospective comparison of diffuse hemimegalencephaly and multilobar cortical dysplasia.	Nakahashi M, Sato N, Yagishita A, Ota M, Saito Y, Sugai K, Sasaki M, Natsume J, Tsushima Y, Amanuma M, Endo K	核医学科
J. Magn. Reson. Imaging	Diagnostic utility of diffusion-weighted MR imaging and apparent diffusion coefficient value for the diagnosis of adrenal tumors.	Tsushima Y, takahashi-Taketomi A, Endo K.	核医学科
Oncology Reports	Dual functional molecular imaging probe targeting CD20 with PET and optical imaging.	Paudyal P, Paudyal B, Iida Y, Oriuchi N, Hanaoka H, Tominaga H, Ishikita T, Yoshioka H, Higuchi T, Endo K	核医学科
Jpn J Radiol	Magnetic resonance imaging findings of extrapelvic endometriosis of the round ligament.	Tokue H, Tsushima Y, Endo K	核医学科
Inter Med	Jejunogastric Intussusception :Life-Threatening Complication Occuring 55 Years after Gastrojejunostomy.	Tokue H, Tsushima Y, Arai Y, Endo K	核医学科
J. Magn. Reson. Imaging	Magnetic resonance (MR) differential diagnosis of breast tumors using apparent diffusion coefficient (ADC) on 1.5T.	Tsushima Y, Takahashi-Taketomi A, Endo K	核医学科
Jpn J Radiol	Magnetic resonance imaging findings of extrapelvic endometriosis of the round ligament.	Tokue H, Tsushima Y, Endo K	核医学科
Pediatric Neurology	Mesial temporal sclerosis associated with methotrexate-induced leukoencephalopathy.	Hamamoto K, Oriuchi N, Kanazawa T, Higuchi T, Endo K	核医学科
Jpn J Radiol	Quantification of hepatic arterial and portal perfusion with dynamic computed tomography:comparison of maximum-slope and dual-input one-compartment model methods.	Miyazaki M, Tsushima Y, Miyazaki A, Paudyal B, Amanuma M, Endo K	核医学科
Ann Nucl Med	Radioimmunotherapy of solid tumors targeting a cell-surface protein, FZD10: therapeutic efficacy largely depends on radiosensitivity.	Hanaoka H, Katagiri T, Fukukawa C, Yoshioka H, Yamamoto S, Iida Y, Higuchi T, Oriuchi N, Paudyal B, Paudyal P, Nakamura Y, Endo K	核医学科
Cardiovasc Intervent Radiol	Successful interventional management for subclavian arteryinjury secondary to internal catheterization:A report of two cases.	Tokue H, Tsushima Y, Morita H, Endo K	核医学科

Ann Nucl Med	Evaluation of (64)Cu-labeled DOTA-D-Phe(1)-Tyr (3)-octreotide ((64)Cu-DOTA-TOC) for imaging somatostatin receptor-expressing tumors.	Hanaoka H, Tominaga H, Yamada K, Paudyal P, Iida Y, Watanabe S, Paudyal B, Higuchi T, Oriuchi N, Endo K, Shimizu A,	核医学科
Acta Radiol	Expansion of radiofrequency ablation volume by saturated NaCl saline injection in the area of vaporization.	Ishizaka H, Awata S, Shiraishi A, Hirasawa S, Tatezawa T, Kano M, Shimodaira K, Taketomi-Takahashi A, Tsushima Y, Endo Y	核医学科
Gynecol Obstet Invest.	Plasma adrenomedullin levels during multiple pregnancy.	Shinozaki H, Aoki H, Kasahara Y, Kangawa K, Minegishi T.	産婦人科
Anesth Analg.2010 Sep;111(3):763-7. Epub 2010 Aug 4.	Technical communication: percutaneous radiofrequency mandibular nerve rhizotomy guided by high-speed real-time computed tomography fluoroscopy.	Koizuka S, Saito S, Tobe M, Sekimoto K, Obata H, Koyama Y.	麻酔科
Anesthesiology. 2010 Jun;112(6):1473-81.	Long-term effect of sciatic nerve block with slow-release lidocaine in a rat model of postoperative pain.	Tobe M, Obata H, Suto T, Yokoo H, Nakazato Y, Tabata Y, Saito S, Sekimoto K, Nazeer A,	麻酔科
Anesth Analg.2010 May 1;110(5):1468-72.	Fibroblast growth factor and insulin-like growth factor rescue growth cones of sensory neurites from collapse after tetracaine-induced injury.	Sekimoto K, Guao Y, Al-jahdari W, Saito S.	麻酔科
Clin Cancer Res 15:2620-2629	Transcriptional activation of the mixed lineage leukemia-p27Kip1 pathway by a somatostatin analogue.	Horiguchi K.	脳神経外科
J Neurosurg 111:970-977	Benefit of carotid endarterectomy for symptomatic and asymptomatic severe carotid stenosis; a Markov model based on th erandomized control trials.	Nagaki,T.	脳神経外科
Kitakanto Med J 59:226 (第36回群馬脳腫瘍研究会)	グリオーマの手術戦略	石内勝吾	脳神経外科
脳卒中 31:322-327	脳腫瘍と鑑別を要した脳アミロイドアンギオパチーの1例	鹿児島海衛	脳神経外科
群馬医学 90:115-117	Angio GuardR system を用いた頸動脈ステント留置術の初期成績	清水立矢	脳神経外科
The Mt. Fuji Workshop on CVD 27:19-23	血管内手術を導入することで破裂前交通動脈瘤の治療成績は向上する	清水立矢	脳神経外科
EBM 神経疾患の治療 550-555	脳脊髄液減少症の診断基準と治療法は	登坂雅彦	脳神経外科
NS Now 8:40-	脳室ドレナージ術 脳膿瘍を含む	登坂雅彦	脳神経外科
Kitakanto Med J 59:223 (第35回群馬脳腫瘍研究会)	CNSlymphoma についての考察	深沢洋子	脳神経外科
Kitakanto Med J 59:225 (第36回群馬脳腫瘍研究会)	覚醒下手術を施行した左前頭葉 glioma の2例	堀口桂志	脳神経外科
Kitakanto Med J 59:217 (第33回群馬脳腫瘍研究会)	群馬大学脳神経外科における転移性脳腫瘍の最近の動向	堀口桂志	脳神経外科

Kitakanto Med J 59:221 (第34回群 馬脳腫瘍研究会)	Multiple en-plaque meningioma の一例	山口 玲	脳神経外科
Brain Res	Motor impairment and aberrant production of neurochemicals in human alpha-synuclein A30P+A53T transgenic mice with alpha-synuclein pathology.	池田将樹	脳神経内科
J Clin Neurosci	Association of autophagy with cholesterol-accumulated compartments in Niemann-Pick disease type	石橋誠也	脳神経内科
Neurosci Lett	Phosphorylation-dependent TDP-43 antibody detects intraneuronal dot-like structures showing morphological characters of granulovacuolar degeneration	門倉 愛	神経内科
Neuropathology	Regional distribution of TDP-43 inclusions in Alzheimer Disease (AD) brain: their relationship to AD common pathology	門倉 愛	神経内科
Neurological Res	Variations in the effects on synthesis of amyloid beta protein in modulated autophagic conditions	牧岡幸樹	神経内科
Muscle Nerve	Expression of synemin in the mouse spinal cord	水野裕司	神経内科
臨床神経	交通事故回避運動にともない突然発症した reversible posterior leukoencephalopathy syndromeの1例	林 信太郎	神経内科
臨床神経	カルバマゼピン内服後に急激な血圧上昇と Reversible Posterior Leukoencephalopathy Syndromeを呈した21歳男性例	古田夏海	神経内科
神経内科	広範な大脳・脳幹病変を呈した抗アクアポリン4抗体陽性の33歳女性例	古田夏海	神経内科
神経治療	Cyclosporinを投与した重症筋無力症9例の検	水野裕司	神経内科
J Gastroenterol hepatol, 2009	Comparison of the Degree of Correlation with Endoscopic Findings between the Frequency Scale for the Symptoms of Gastroesophageal Reflux Disease(FSSG) and the Questionnaire for the Diagnosis of Reflux Esophagitis(QUEST): a Multicenter Japanese Study	Akiko Danjo, Motoyasu Kusano, et al.	光学医療診療部
Am J Clin Nutr, 2009	Monosodium L-glutamate added to a high-energy, high-protein liquid diet promotes gastric emptying	Hiroaki Zai, Motoyasu Kusano, et al.	光学医療診療部
Dig Dis Scie, 2009	It Is Possible to Classify Non-erosive Reflux Disease(NERD) Patients into Endoscopically Normal Groups and Minimal Change Groups by Subjective Symptoms and Responsiveness to Rabeprazole-A Report from a Study with Japanese Patients	Motoyasu Kusano, et al.	光学医療診療部
Digestion, 2009	Comparison of the Degree of Correlation with Endoscopic Findings between the Frequency Scale for the Symptoms of Gastroesophageal Reflux Disease(FSSG) and the Questionnaire for the Diagnosis of Reflux Esophagitis(QUEST): a Multicenter Japanese Study	Kazuma Fujimoto, Motoyasu Kusano, et al	光学医療診療部
Clin. Pharmacol. Ther. 2009; 85 (5): 527-30.	Pro32Thr polymorphism of inosine triphosphate gene predicts efficacy of low-dose azathioprine for patients with systemic lupus erythematosus.	山本康次郎	薬剤部
Clin. Chem. 2009; 55 (4) 804-12.	Rapid SNP detection of the cytochrome P450 (CYP) 2C9 and the vitamin K oxide reductase (VKOR) gene for the warfarin dose adjustment by SMarT-Amplification Process.	青森達	薬剤部
薬学雑誌2009; 129 (3) 335-40.	オピオイド製剤からフェンタニル貼付剤へのオピオイドローテーションの適応と癌疼痛治療における換算比の検討.	小川淳司	薬剤部

Heterocycles 2009; 78: 1497-1505.	Isolation of β -sitosterol and digalactopyranosyl-diacylglyceride from <i>Citrus hystrix</i> , a Thai traditional herb, as pancreatic lipase inhibitors.	中村智徳	薬剤部
J.Natural Medicines2009; 63 (1) 15-20.	The structure- activity relationship between oxycoumarin derivatives which show the inhibitory effect of iNOS in mouse macrophage RAW 264.7.	中村智徳	薬剤部
J.Natural Medicines2009; 63 (1) 21-7.	Inhibitory effect of oxycoumarins isolated from Thai medicinal plant, Clausenaguillauminin on the inflammation mediators, iNOS, TNF-alpha and COX-2 expression in mouse macrophage RAW264.7.	中村智徳	薬剤部
J.Natural Medicines2009; 63 (1) 107-10.	Inhibitory effect of the extracts from Thai medicinal plants on iNOS expression in mouse macrophage RAW 264.7.	中村智徳	薬剤部
Case Rep Gastroenterol 2009	Hepatocellular Carcinoma Mimicking Liver Abscesses in a Cirrhotic Patient with Severe septic Shock as a Result of Salmonella 09 HG Infection	Shuichi Hagiwara, Takashi Ogino, Yuga Takahashi, Takuro Yamada, Koichi Ishihara, Nozomi Matsumura, Tomomi Miyanaga, Yuichi Iino	救急部
研究論文作業療法	在宅生活をおくる神経難病患者の社会参加と関連する要因	加藤由里, 白倉賢二, 外里富佐江, 李範爽, 王治文	リハビリテーション部

計 242

注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療サービス課 医療情報部	一患者一カルテ方式により管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	紙媒体のファイルを保管・管理している。(医療サービス課)
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課	同上 (医療サービス課)
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療サービス課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療サービス課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一	院内感染のための指針の策定状況	医療サービス課
	第一項各号及び第九條の二十三	院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療サービス課
	第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	材料部 放射線部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況		材料部 放射線部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	材料部 放射線部		
			紙媒体のファイルを保管・管理している。(医療サービス課)

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長：石川 治
閲覧担当者氏名	総務課長：福田 美則
閲覧の求めに応じる場所	医学部大会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	1 件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	79.9%	算定期間	平成21年 4月 1日～平22年 3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		15,734 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,932 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		896 人
	D：初診の患者の数		24,050 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 当院における安全管理の基本的考え方：安全文化の育成・ 医療安全を推進するための委員会等の設置・ 職員に対する研修の基本方針・ 事故報告などの医療に関わる安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針・ 事故発生時の対応に関する基本方針・ 情報の共有に関する基本方針（当該指針の閲覧に関する基本方針）・ 患者相談への対応に関する基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療業務安全管理委員会：医療事故防止専門委員会からのインシデント報告書の分析結果等の報告を受け、分析結果や改善指摘事項等について協議するとともに、その改善事項等の決定及び各診療科等への改善命令等の決定を行う。・ 医療事故防止専門委員会：具体的なインシデント・アクシデント報告書の内容分析を行い、改善事項等について審議し、その結果を上部委員会へ報告するとともに、決定された改善事項についてやテーマを設けての病棟等巡視点検を行う。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 8 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<p>21年度は全体研修として「医療安全職員研修」（全5回）、「児童虐待予防講演会」、「新CVC体制説明会」（全3回）、「感染対策講演会」（全2回）、「救命救急講習会」（全12回）を実施した。ほかに新入職者研修として前後期に内服薬・注射処方箋の書き方と読み方、麻薬管理など各5テーマを実施した。ほかに、新採用職員・研修医のオリエンテーションで、安全や感染に関する講演を行っている。原則的には全ての研修の内容がe-Learningで受講できるよう整備。</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 各診療科、病棟等にリスクマネージャー85名を配置。・ 月間強化テーマを設け医療事故防止専門委員による巡視。・ 『医療安全情報』の閲覧確認簿の設置	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (4) 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理部 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故発生時の即時対応 ・ インシデント・アクシデント報告書の即時調査、分析、管理 ・ 医療業務安全管理委員会、医療事故防止専門委員会、医療事故調査専門委員会、リスクマネージャー会議に関すること 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 病院感染対策に関する基本的な考え方・ 感染対策委員会及び感染制御部・ 職員研修・ 病院感染発生時の対応・ 病院感染対策マニュアル・ 患者への情報提供と説明・ その他の病院感染対策の方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 感染対策の実施及び指導・ 感染対策に関する必要事項の検討・ 感染症の情報収集、整理、解析及び対策・ 感染症の解析結果の迅速な情報提供・ 感染症の継続的観察及び対策実施後の評価・ 感染症に関する啓発、講習、教育・ 感染防止のためのガイドライン及びマニュアルの整備	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 新採用職員研修（オリエンテーション）「検査部と感染予防対策について」・ 全体研修 感染対策講演会 「消毒薬の適切な使い方」「抗菌薬の適切な使い方」・ 全体研修 感染対策講演会 「新型インフルエンザ対策について」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 毎月の感染対策委員会、感染制御部運営委員会合同委員会の開始前に、テーマを決めて委員による院内の視察を行い、評価、改善指導を行っている。・ 長期使用抗菌薬の定期的調査を行っている。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年4回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年度初め 新規採用全職員に対して医薬品安全使用のための講習会・ 年度初め 新入職看護師に対して医薬品の安全使用のための講習会・ 年度初め (3回) 新規採用者に対して医薬品安全使用のための講習会・ 11月 後期新規採用職員に対して医薬品安全使用のための講習会	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>院内で医薬品を安全に取り扱うための手順を見直し、平成21年12月、22年4月に手順書を改訂した。各病棟の薬剤師が実施状況をチェックし、医薬品安全管理責任者が確認している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医薬品安全にかかわる情報の収集、管理、提供については薬剤部D Iセンターが担当している。病棟薬剤師と週に1回カンファレンスを行い、情報収集と提供に努めている。該当医薬品を使用している医師を特定し、迅速な情報提供と収集を行っている。さらに院内広報誌「D Iニュース」で院内の全職員に情報を伝えている。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	随時
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 各装置ごとのマニュアルの周知	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 毎日の始業・終業点検<input type="radio"/> 定期的 (2回以上/年) なメーカーによる点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 電話回線によるメンテナンスの報告<input type="radio"/> 毎日の始業・終業	